

プログラム

■ 開会の辞

10月7日(水) 14:55~15:00 第1会場

■ 国際シンポジウム T-cell biology in Cancer Immunity

10月7日(水) 15:00~17:30 第1会場

座長：河上 裕（国際医療福祉大学医学部 免疫学／慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所）
西川 博嘉（国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野／先端医療開発センター 免疫TR分野）

IS-1 【Keynote Lecture】

TOX reinforces the phenotype and longevity of exhausted T cells

Dietmar Zehn

Division of Animal Physiology and Immunology School of Life Sciences Weihenstephan, Technical University of Munich

IS-2 Molecular mechanism of T cell exhaustion by NR4a nuclear receptors and its reversion

YOSHIMURA Akihiko

Department of Microbiology and Immunology, Keio University School of Medicine

IS-3 Immune suppression in the tumor microenvironment

NISHIKAWA Hiroyoshi

Department of Immunology, Nagoya University Graduate School of Medicine

IS-4 Anti-diabetes drug, metformin, drives metabolic reprogramming in tumor microenvironment, leading to sustained anti-tumor immunity

UDONO Heiichiro

Department of Immunology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama Japan.

■ ワークショップ 1 がんゲノムと免疫病理学

10月8日(木) 9:00~10:50 第1会場

座長：垣見 和宏（東京大学大学院医学系研究科免疫細胞治療学（メディネット）講座）
門脇 則光（香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学）

WS1-1 肉腫のImmunopathobiology

塚原 智英

札幌医科大学医学部病理学第一講座

WS1-2 脾臓がんの免疫微小環境と血管

平岡 伸介

国立がん研究センター研究所 病理解析部門

WS1-3 がん免疫応答の多角的・総合的評価 ～Immunogram解析～

垣見 和宏

東京大学医学部附属病院免疫細胞治療学講座

WS1-4 個別化医療に向けた免疫原性を示すネオアンチゲンペプチドの同定

- 恒富 亮一¹⁾、碓 彰一^{1,2)}、千々松日香里¹⁾、中上裕有樹¹⁾、中島 正夫¹⁾、松井 洋人¹⁾、
松隈 聡¹⁾、新藤芳太郎¹⁾、徳光 幸生¹⁾、友近 忍¹⁾、吉田 晋¹⁾、飯田 通久¹⁾、
鈴木 伸明¹⁾、武田 茂¹⁾、永野 浩昭¹⁾

¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学、²⁾ 山口大学医学部 先端がん治療開発学

WS1-5 クラスⅠHLA変異に基づいたマイクロサテライト高度不安定性大腸がんの免疫学的状態の分類

- 河津 正人¹⁾、岸上 史士^{1,2)}、波江野 洋³⁾、石原聡一郎²⁾、西川 博嘉⁴⁾、間野 博行¹⁾

¹⁾ 国立がん研究センター 研究所 細胞情報学分野、²⁾ 東京大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学、

³⁾ 東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻、⁴⁾ 国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野

WS1-6 がんゲノム検査と免疫療法

西原 広史

慶應義塾大学医学部臨床研究推進センター

■ ワークショップ2 腫瘍浸潤T細胞と樹状細胞

10月8日(木) 11:00~12:40 第1会場

座長：中面 哲也(国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野)
赤塚 美樹(名古屋大学 大学院医学系研究科 分子細胞免疫学分野)

WS2-1 HCV誘発性肝癌モデルマウスにおける肝組織微小環境変化

橋本 真一

和歌山県立医科大学医学部 先端医学研究所

WS2-2 1細胞遺伝子発現解析から観る腫瘍浸潤樹状細胞の多様性

- 上羽 悟史、七野 成之、小川 達郎、荻原 春、松島 綱治

東京理科大学 生命医科学研究所 炎症/免疫難病制御部門

WS2-3 ヒト大腸がん浸潤T細胞中の腫瘍反応性T細胞とその認識抗原の解析

- 宮原 慶裕¹⁾、山根真妃子¹⁾、藤井 啓介¹⁾、問山 裕二²⁾、北嶋 貴仁²⁾、井上 靖浩²⁾、
浜名 洋³⁾、井上 正宏⁴⁾、岸 裕幸³⁾、珠玖 洋¹⁾

¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 個別化がん免疫治療学、²⁾ 三重大学大学院医学系研究科 消化管・小児外科学、

³⁾ 富山大学学術研究部医学系 免疫学、⁴⁾ 京都大学大学院医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座

WS2-4 Analysis of tumor-reactive CTL and its application to personalized immunotherapy in hepatobiliary and pancreatic cancer

○SUZUKI Toshihiro^{1,2)}、AKAZAWA Yu⁶⁾、SHIMIZU Yasuhiro⁷⁾、
YOSHIKAWA Toshiaki³⁾、KOJIMA Motohiro⁸⁾、GOTOHDA Naoto⁵⁾、
TAKAHASHI Shinichiro⁵⁾、SUGIMOTO Motokazu⁵⁾、SUZUKI Yutaka⁴⁾、
SEKI Masahide⁴⁾、NAKATSURA Tetsuya³⁾

¹⁾ General Medical Education & Research Center (GMEC), Teikyo University,

²⁾ Strategies of Innovation Research Center (SIRC), Teikyo University,

³⁾ Division of Cancer immunotherapy, Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center, National Cancer Center,

⁴⁾ Department of Computational Biology And Medical Sciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo,

⁵⁾ Division of Hepatobiliary and Pancreatic Surgery, National Cancer Center Hospital East,

⁶⁾ 2nd Department of Internal Medicine, Graduate School of Medicine, Fukui University,

⁷⁾ Department of Gastrointestinal Surgery, Graduate School of Medicine, Yokohama City University,

⁸⁾ Division of Pathology, Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center, National Cancer Center

WS2-5 組織学的多様性を示す腎臓明細胞癌は免疫学的多様性を示す

廣橋 良彦

札幌医科大学医学部 病理学第一講座

■ 特別講演

10月8日(木) 13:50~14:50 第1会場

座長：鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部 病理学第一講座）

SL がん細胞由来の新規免疫調節分子；がんの微小環境を標的とした治療法確立に向けて

谷口 維紹

東京大学・名誉教授 総長室アドバイザー

東京大学先端科学技術研究センター 科学技術振興機構・研究開発戦略センター・上席フェロー

■ シンポジウム 1（バイオセラピー学会合同シンポジウム）

『がん免疫療法実用化の時代』～あなたが抱く基礎・臨床の課題を皆で考える2020～

10月8日(木) 15:00~18:00 第1会場

座長：鵜殿平一郎（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻腫瘍制御講座 免疫学分野）

山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学）

共催：MSD株式会社

SY1-1 再発転移頭頸部癌に対する免疫チェックポイント阻害剤を用いた化学療法

田中 薫

近畿大学医学部内科学講座腫瘍内科部門

SY1-2 転移性腎癌に対する複合免疫療法の現状と課題

北村 寛

富山大学学術研究部医学系 腎泌尿器科学

SY1-3 複合がん免疫療法の機序に関する基礎的考察

玉田 耕治

山口大学大学院医学系研究科 免疫学

SY1-4 がん免疫研究における基礎×臨床サイクルの確立と重要性

金関 貴幸

札幌医科大学医学部 病理学第一講座

パネルディスカッション

■ シンポジウム 2 腫瘍微小環境とその制御

10月9日(金) 9:00~11:00 第1会場

座長：清野研一郎（北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野）

小林 博也（旭川医科大学 病理学講座 免疫病理分野）

共催：中外製薬株式会社

SY2-1 【Keynote Lecture】

Novel affinity-matured peptide-exchangeable peptide/HLA multimers enable robust and rigorous identification of antigen-specific T cells

HIRANO, Naoto

Princess Margaret Cancer Centre, University of Toronto

SY2-2 T細胞ミトコンドリア活性を直接抑制する腫瘍由来非タンパク性低分子物質の存在とそれによる免疫チェックポイント治療不応答性メカニズムの解明

茶本 健司

京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学

SY2-3 腫瘍血管内皮細胞の特性とがん免疫

樋田 京子

北海道大学大学院歯学研究院口腔病態学分野 血管生物・分子病理学教室

SS2-4 がん免疫療法と血管新生阻害剤との併用療法への期待

富樫 庸介

千葉県がんセンター研究所

■ ワークショップ 3 がん免疫研究の新技术

10月9日(金) 11:10~12:50 第1会場

座長：本橋新一郎（千葉大学大学院医学研究院 免疫細胞医学）

笹田 哲朗（神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部）

WS3-1 プロテオゲノミクスによるHLA提示ペプチド解析と非コード領域遺伝子に由来する新しいがん抗原クラスの同定

金関 貴幸

札幌医科大学医学部 病理学第一講座

WS3-2 新規高親和性HLA class Iダイマーと人工抗原提示細胞を用いた悪性黒色腫浸潤リンパ球の解析

○村田 憲治、菅田 謙治、西條 浩、松永 幸子、平野 直人

Princess Margaret Cancer Centre

WS3-3 Optimization of culture conditions and method of detection to monitor T cells specific for HLA-peptides in PBMCs

○UDAKA Keiko, NAKATA Asami, MACHIDA Kaori, KOMATSU Toshihiro, SHIMIZU Takeyuki

Department of Immunology, School of Medicine, Kochi University

WS3-4 Development of a novel tumor antigen-specific TCR cloning system using a microarray chip

○KOBAYASHI Eiji, OZAWA Tatsuhiko, HAMANA Hiroshi, MURAGUCHI Atsushi, KISHI Hiroyuki

Faculty of medicine, Academic assembly, University of Toyama

WS3-5 In silico TCR/pHLA結合評価システムの開発

中津川宗秀

東京医科大学八王子医療センター 病理診断部

■ ワークショップ 4 製薬企業の基礎研究と治験

10月9日(金) 14:10~15:50 第1会場

座長：角田 卓也（昭和大学医学部内科講座 腫瘍内科学部門）

藤井眞一郎（理化学研究所統合生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム）

WS4-1 Inhibition of PGE₂/EP4 pathway by ONO-4578, a novel EP4 antagonist, promotes T cell activation and myeloid cell differentiation to dendritic cells

○KOTANI Tohru^{1,2)}, TAKANO Hirotsugu¹⁾, YOSHIDA Tomoko¹⁾, HAMASAKI Ryota¹⁾, KOHANBASH Gary^{2,3)}, YOSHIDA Takao¹⁾, TAKEDA Kazuhiko¹⁾, OKADA Hideho²⁾

¹⁾ ONO Pharmaceutical Co.,Ltd, ²⁾ University of California San Francisco, ³⁾ University of Pittsburgh

WS4-2 In Vitro Assessment of the Impact of Chemotherapy Agents on Immune Cell Function

- Dana Banas、Dawn Stetsko、Miye Jacques、Sium Habte、Matthew Loya、
Xiaodong Wang、Krishna Vasudevan、Laurence Menard
Bristol Myers Squibb, Princeton, NJ

WS4-3 PD-L1陰性腫瘍に対する抗PD-L1抗体作用機序解析および機序に基づく新たな効果予測バイオマーカーの探索

- 岩井 俊樹、杉本 正道、鈴木 美穂、加藤 千恵、萬 啓悟、倉澤 光江、根東 攝
中外製薬株式会社

WS4-4 Inflammatory gene expression signatures in blood and response to nivolumab in patients with SCCHN

- Jun Li、Peter M. Szabo、Scott D. Chasalow、Han Chang、Abraham Apfel、
Mustimbo Roberts、Jaclyn Neely
Bristol Myers Squibb, Princeton, NJ, USA

WS4-5 メラノーマに対する免疫チェックポイント阻害薬の治験

- 宇原 久
札幌医科大学 皮膚科

■ ワークショップ5 T-cell therapyの新展開

10月9日(金) 16:00~17:40 第1会場

座長：池田 裕明(長崎大学大学院 医歯薬総合研究科 腫瘍医学)
玉田 耕治(山口大学大学院 医学系研究科 免疫学講座)

WS5-1 ヒト悪性中皮腫同所移植および膀胱癌PDXマウスモデルを用いたIL-7/CCL19産生型ヒトCAR-T細胞による抗腫瘍効果の検討

- 後藤 駿介^{1,2)}、佐古田幸美¹⁾、安達 圭志¹⁾、江藤 正俊²⁾、玉田 耕治¹⁾
¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座、²⁾ 九州大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野

WS5-2 Optimized scFv-expressing CAR-T cells showed marked antitumor reactivity *in vivo*

- OCHI Toshiki^{1,2)}、MARUTA Masaki¹⁾、TANIMOTO Kazushi¹⁾、
TAKENAKA Katsuto¹⁾、YASUKAWA Masaki²⁾
¹⁾ Department of Hematology, Clinical Immunology and Infectious Diseases, Ehime University Graduate School of Medicine,
²⁾ Division of Immune Regulation, Proteo - Science Center, Ehime University

WS5-3 TCR遺伝子導入iPS細胞からCTLを再生するための新規の方法：TCRカセット法の開発

- 永野 誠治¹⁾、寺田 晃士²⁾、前田 卓也¹⁾、嘉島 相輝¹⁾、縣 保年²⁾、増田 喬子¹⁾、
河本 宏¹⁾
¹⁾ 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 再生免疫学分野、
²⁾ 滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 分子生理化学部門

WS5-4 T細胞やNK細胞による拒絶反応、およびGVHDを回避しうる「ステルスT細胞」を用いたがん免疫療法の開発

○安井 潔¹⁾、岡田 怜美^{1,2)}、岡本 幸子³⁾、峰野 純一³⁾、村岡 大輔¹⁾、珠玖 洋⁴⁾、
江口 晋²⁾、池田 裕明¹⁾

¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 腫瘍医学、²⁾ 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 移植・消化器外科、

³⁾ タカラバイオ株式会社、⁴⁾ 三重大学大学院 遺伝子・免疫細胞治療学

WS5-5 JAK-STATシグナルドメイン搭載CARは非特異的活性を抑え、優れた抗腫瘍効果を発揮する

○岡本 幸子¹⁾、天石 泰典¹⁾、重田美津紀¹⁾、大橋 要太^{2,3)}、榎 竜嗣¹⁾、平野 直人^{2,3)}、
峰野 純一¹⁾

¹⁾ タカラバイオ株式会社、²⁾ Tumor Immunotherapy Program, Princess Margaret Cancer Centre、

³⁾ Department of Immunology, University of Toronto

■ 閉会の辞

10月9日(金) 17:40~17:45 第1会場

■ スポンサーードセミナー 1

10月8日(木) 12:50~13:40 第1会場

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

SS1 制御性T細胞をターゲットとした抗腫瘍免疫

大倉 永也

大阪大学医学系研究科 基礎腫瘍免疫学 共同研究講座

■ スポンサーードセミナー 2

10月8日(木) 12:50~13:40 第2会場

座長：小原 航（岩手医科大学 泌尿器科学講座）

共催：アストラゼネカ株式会社

SS2-1 転移性尿路上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の臨床的因子による治療効果予測

山本 義明

山口大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座

SS2-2 尿路上皮がんの臨床試験の結果から見えてきた、がん免疫療法の特性とバイオマーカー～化学療法との併用についての考察～

三浦 裕司

虎ノ門病院 臨床腫瘍科

■ スポンサーードセミナー 3

10月8日(木) 18:05~18:55 第1会場

座長：掛谷 知志（株式会社スクラム 学術サポート本部）

共催：10× Genomics / 株式会社スクラム

SS3 がん免疫と腫瘍微小環境をより深く理解するためのシングルセル解析

大崎 研

10x Genomics 北アジアリージョナルマーケティング

■ スポンサーードセミナー 4

10月9日(金) 13:00~13:50 第1会場

座長：北野 滋久（がん研究会有朋病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部）
共催：小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

SS4 メラノーマ研究と治療経験から考えるがん免疫療法

猪爪 隆史

千葉大学大学院医学研究院 皮膚科学

■ スポンサーードセミナー 5

10月9日(金) 13:00~13:50 第2会場

共催：株式会社医学生物学研究所

SS5 ヒトがん組織における HLA class Ⅰ 発現とその意義、評価

廣橋 良彦

札幌医科大学医学部 病理学第一講座